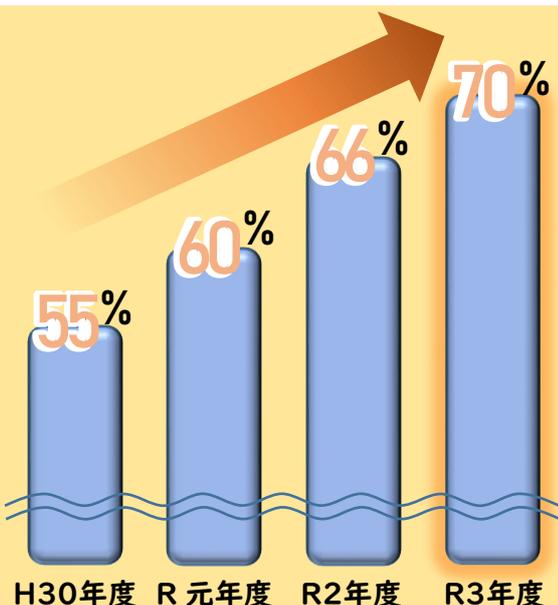


施設園芸農家の皆様

NOSAIの園芸施設共済で 災害に備えましょう

加入率（全国ベース）



毎年、多くの農家様に新規ご加入をいただいています。

10人に**7人**が
ご加入されています。

山口県では令和4年度の

1年で**224**戸**637**棟の
新規加入がありました。

主な加入理由

近年、台風・大雪・地震等により園芸施設の倒壊等の被害が全国で多発しているから（災害対策として加入）。

古いハウスでも新築時の本体価値まで補償されるようになったから（補償単価が上がったから）。

小さな被害から補償されるようになったから（1万円以上の被害から補償される特約ができたから）。

掛金の安いプランが選べるようになったから（棟ごとで補償の内容を選択できるから）。

山口県が掛金を半分補助してくれたから（令和4年度のみ）。



安心して農業を続けるために加入



安心して農業をするために加入しました。毎年の台風や大雨のニュースが気になるので、加入は安心感に繋がっています。職員の方から制度改正について説明を受け、**補償が充実したこと**を知りました。最近**小さな被害から補償してくれる**ので安心してしています。資材が高騰しているので、事故があれば修理費用の足しにできます。

また、集団加入で申し込んでいるので割引があり掛金負担の軽減になっています。これからも引き続き加入していきます。

【周南市八代 津野地 茂雄さん】 水稲 122.7a ほうれんそう 9a (ハウス 8 棟)

持続可能な農業のために、手厚い補償が魅力

台風接近や強風が吹く時は、山間をぬって南東の風が吹くため、ヒヤヒヤしています。過去には施設本体とビニールに被害を受け、共済金を受け取りました。**復旧には費用がかかり、補償があつて助かりました。**

私にとって保険は、「お守り」です。おいしいイチゴを家族で作り続けていくためにも、共済のような備えは重要です。

ここ数年で加入パターンも選択できるようになったと聞いていますので、次の切り替え時には補償内容の見直しも検討してみます。



【防府市大道 五島 昭夫さん】 イチゴ 18a (ハウス 3 連棟 2 棟)

万が一に備えて、ハウス共済は必要な存在



万が一に備えて加入しています。日々ハウスの点検を行っていますが、自力では避けられない災害に対し共済加入は必要と考えています。

特約が充実したことを職員から説明を受け、今は 20 万円を超える損害から補償の対象にしているので掛金も大幅に割引かれています。さらには集団加入の割引もあるので**掛金が高いと感じたことはありません。**

次は古くなったパイプを新価で補償する復旧費用などの特約を検討しています。

【山口市阿東 林 謙次さん】 トマト 33a (ハウス 17 棟)

自分に合った補償を選び、計画的な農業経営が可能に

高価な資産である園芸施設が予想外の被害に見舞われた際に保険で備えておくことが有効と考え加入しています。

とはいえ、掛金負担は抑えたいので、**自力復旧の難しい大被害時のみ費用を捻出できればよいと割り切って考え、小損害不てん補 50 万円特約を付帯し 9 割近く掛金を割り引いたプラン**に加入しています。さらに、集団加入により賦課金が 2 割の割引になっています。

このように、予算とニーズに合わせた保険が設計できるのはありがたいところですね。

【長門市日置 尾崎 一成さん】 イチゴ 12a (ハウス 3 連棟) 水稲など 85.1a

